

## 水稻オリジナル品種「もち美人」の栽培法

耐倒伏性、耐冷性が強く、餅食味、加工適性に優れる水稻糯品種「もち美人」の良質・安定生産のための栽培法を策定した。穂発芽を防ぎ、登熟歩合を高めるためには、倒伏を回避することが重要であり、そのための期待生育量は穂数 320～360 本/m<sup>2</sup>で、籾数 23～27 千粒/m<sup>2</sup>である。

基肥は「ヒメノモチ」よりやや多い 6.0kg/10a、追肥は減数分裂期を重点に 2.0kg/10a をそれぞれ上限とする。

刈取り適期は出穂後積算平均気温で 950 ～ 1050 、黄化籾率 80～85%程度であり、刈り遅れに注意する。

### (1) 期待生育量 (収量構成要素)

1.9mm 収量 kg/10a	穂数 本/m <sup>2</sup>	一穂籾数 粒	m <sup>2</sup> 当籾数 千粒/m <sup>2</sup>	1.9mm 千粒重 g	登熟歩合 %	稈長 cm
500～560	320～360	67～76	23～27	25	85～90	85以下

### (2) 栽培法

基肥	追肥	刈取り適期
窒素成分で 6kg/10a を上限とする	減数分裂期を重点とし窒素成分 2.0kg/10a 以内とする。	窒素成分出穂後積算平均気温は 950 ～ 1050 で、黄化籾率は 80～85%程度。

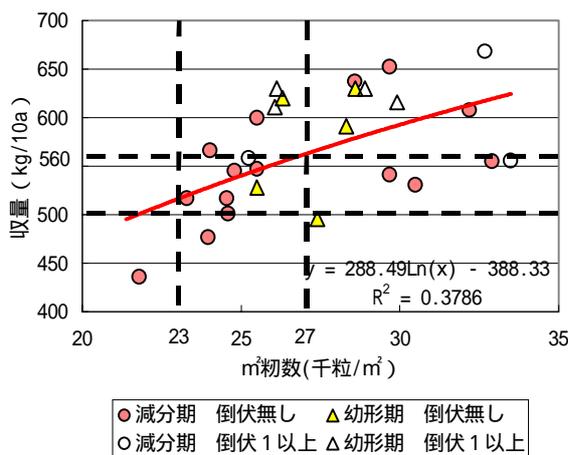


図1 m<sup>2</sup>あたり籾数と収量 (H10～14)

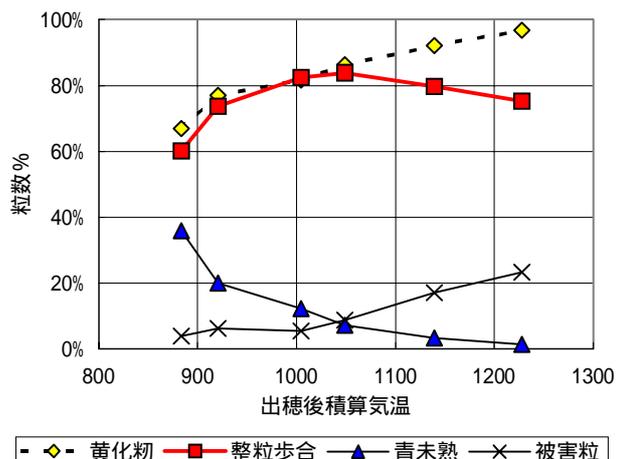


図2 「もち美人」の刈取り時期別の玄米品質の推移 (H14)  
注) 被害粒は茶米、薄茶米、発芽粒等で胴割粒は含まない。